

建築人

2023

8

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.710





公益社団法人
全日本不動産協会
なしや南支部

国美幼稚園

建築人

2023.08 No.710

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「並びの住宅」2019年

第15回 建築人賞新人賞 受賞作品
設計：design SU建築設計事務所
施工：コムウト
撮影：繁田 諭

二つのような一つのような 似ているが同じではない
二つの独立した住宅。敷地周辺を観察して得た弱い
連続性をヒントに、建ち方や部屋と部屋、内部と外部を
丁寧につなぎ合わせ、周辺とも連続する途切れることの
ない関係性を緩やかに作り出している。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「ひじりんの森保育園」

設計：アバクス・アーキテクト

施工：匠家具工芸

「芦屋の家」

設計：井上久実設計室

施工：西友建設

6 動静レポート

7 Topics

8 Information

10 News of Note

12 Close-up Osaka

14 記憶の建築

「東京経済大学図書館」1968年

鬼頭梓の図書館建築の出発点 / 松隈 洋

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

全国で、梅雨入りから豪雨による水害が頻繁に発生し、その後は気温が35度を超える猛暑日が続き、市民は疲弊している。しかしながら、今年は各地にて4年ぶりとなる祭りなども開催されている。今回は四天王寺で開催された「七夕のゆうべ in 四天王寺2023」をお伝えしたい。

2008年から始まったイベントの主催は地元住民などで構成される実行委員会で、新型コロナウイルスによる影響で、4年ぶりの開催となる。昨年には、予算面などの課題で今後の開催が困難であるとして実行委員会を解散する予定であったが、関係者からの強い要望により再結成し、クラウドファンディングによる資金調達を行い、ようやく開催にこぎつけられた。親子など大勢の市民が集い、歴史ある五重塔を観ながら浴衣を着てひと時の祭りを楽しむ。こういった日本を代表するお祭りなどが再び開催できる日常に感謝し、観光で日本に訪れている外国の方々にも、このような空間で開催されるお祭りを楽しんでいただきたい。

建築人 No.710 2023年8月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央（編集人代表）

編集人：石上芳弘	梅田武宏	荻窪伸彦	笠井志保
河合哲夫	大松俊祐	橋本頼幸	北條豊和
牧野隆義	三谷勝章	武藤優哉	村上栄司
茂籠一之	山本恭史		

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和5年8月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

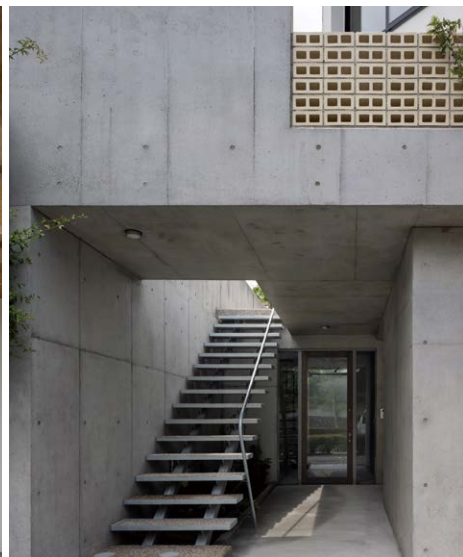
tel. 06-6947-1961



豊中市新千里東町の団地再開発による地区会館内での、0歳から2歳までを預かる保育園の内装工事です。

中央にある構造の鉄骨柱を木に見立て、森の中の木漏れ日を再現しました。その足元には丘をイメージした緩やかな起伏や階段を造り、歩き始めたこどもたちは何度も何度も丘に登ったり転げ落ちたりを繰り返します。玄関を入ってすぐに目に飛び込んでくる手洗はモザイク造形作家の碧垂希子氏による作品です。ひとつひとつ丁寧に造られた丸いモザイクタイルは全て違っており、こどもたちと同じように個性を持っています。そして、インテリアの色彩と呼応して可愛らしさを強調してくれています。
(米 隆志)

所在地：豊中市新千里東町
用途：保育園
竣工：2023.01
構造規模：S造
地上1階
延床面積：176.55㎡
写真：笹倉洋平



計画地はJR芦屋駅の東側、国道二号線から北に約100mに位置し、国道の喧騒を感じられない閑静な住宅地で、比較的大きな邸宅のファサードが街並みを作っており、この敷地にも建蔽率一杯に建てられた邸宅がありました。設計にあたり、地下駐車場である基壇部のコンクリート躯体を残し、上部の大きな木造2階建てを解体し、新たに小ぶりの木造2階建てを増築しました。街に対して圧迫感のないファサードを作るため、建物を出来るだけ小さくし、道路側の外壁に角度を付け、スケールダウンをはかりました。敷地に出来たゆとりは、草花好きのクライアントにとって絶好の見せ場となり、草花が建物周囲を彩り、やがてこの界隈に新たな景色が生まれます。

所在地：兵庫県芦屋市楠町
用途：事務所併用住宅
竣工：2023.06
構造規模：木造+RC造(既存)
3階建
敷地面積：190.24㎡
建築面積：69.81㎡
延床面積：232.75㎡
写真：富田英次

会長動静

- 6/27 大阪府収用委員会
(株)安田(賛助会員) 面談
- 6/28 全日本不動産協会堀田本部長面談
近畿会長会議
近畿建築士会協議会
- 6/29 日本建築協会総会
- 6/30 大阪府仲裁廷事務局会議
- 7/ 6 箕面市副市長と面談
- 7/ 7 近畿大学岩前副学長面談
- 7/ 8 近畿建築士会協議会まちづくり部会
- 7/10 日本建築士会連合会会議
- 7/14 茨木市長と面談
運営会議
- 7/19 理事会
- 7/20 大阪府収用委員会事務局会議
- 7/21 (株)内山鑑定事務所研修会
- 7/25 大阪府収用委員会
インドネシア総領事館協議

会長・役員による府内 43 市町村訪問

本会では、2013 年（平成 25 年）の公益社団法人への移行以来、毎年恒例（2020 年度はコロナ禍で中止）で府内 43 市町村の首長様との面談を行い、行政庁の各種委員会等に会員建築士の派遣協力をはじめ、防災・建築相談・まちづくり・住環境等の活動実績をお伝えし、建築行政の支援に係る懇談を重ねております。

本年度も行政庁との連携をより一層推進するために、本会の地域貢献活動の紹介とともに地元の建築状況等に関する意見交換をお伺いし、具体的な支援に繋げてまいります。

◎ 7/6 箕面市・柿谷武志副市長と面談



上田副会長、岡本会長、柿谷副市長、春岡理事

◎ 7/14 茨木市・福岡洋一市長と面談



神保監事、福岡市長、岡本会長、横田副会長

7 月度 理事会報告

日時 7 月 19 日（水）16：00 ～ 18：00
場所 大阪府建築士会会議室
出席 理事 38/47 名 監事 2/2 名

(1) 入退会の承認

(人)	6 月	入会	退会等
正 会 員	2,285	1	11
準 会 員	31	0	0
特準会員	24	0	0
賛助会員	138	0	0
計	2,478	1	11

(2) 会計報告

(円)	6 月計	累計
収入	4,254,339	68,013,058
支出	8,899,481	30,299,674
差引	△ 4,645,142	37,713,384

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) CPD 認定プログラムの受講認定規定の改定

日本建築士会連合会で「建築士会 CPD 規則の一部改正」が行われたことにより、本会の Web 等を用いた認定プログラムの受講確認規定を見直すこととしました。

要件として、視聴履歴やスクリーンショットによる電子記録での確認方法等を用いて受講確認を行う連合会の改定内容に準じて本会規定も改定することを承認しました。

なお、CPD 講習企画と運営に係るので、実際の運用例を示して周知することが必要としました。

(4) 全国大会「大阪大会」の準備

大会の方向性を示すテーマや、同年の万博を意識したエクスカージョン等に関する意見交換を行いました。

- ・2025 年の万博に掛けて、関ブロ / 群馬、近ブロ / 滋賀に開催地変更の了承を得て大阪に誘致しており、万博との繋がりは必須である。
- ・建築士の視点によるパビリオン見学を企画し、当該建築物等の情報も提供したい。
- ・海外の建築家との交流ができればよい。
- ・万博だけでなく、京都・奈良・神戸等の近隣観光の準備も必要と思われる。
- ・万博に係る特典（入場料割引など）が付け加されるとよい。

大阪大会の開催にあたり、これまでの全国大会の在り方を見直すことが大事であり「大阪大会の基本構想を決めるコンセプト」が重要であるとし、記念行事部門から初期段階での大会概要案を他部門に提示して次回理事会までに意見を収集し、大会の基本的なプランをまとめることとしました。

なお、準備会議の進捗に応じて役員各位に適宜協力を求め、近く実行委員会として構成します。

(5) ホーチミン市建築協会の来訪

本年 2 月に交流協定を締結したホーチミン市建築協会から来年の訪日予定に伴い、ビザ申請等のために本会からの招待状を望む依頼があり、発行する旨を承認しました。

ホーチミン市建築協会では、来年 10 月ごろに 10 名程度の訪日団を結成する予定です。

【報告等】

(6) 連合会主催による「BIM コーディネーター・マネージャーの育成に関するシンポジウム」の 12 月の大阪開催のための会場確保など運営実務に関する協力をします。

(7) 充実した掲載誌面に一新した「2023 賛助会員リスト」の準備状況を報告しました。

(8)「Teams の使い方」の詳細説明を行い、本会での有効活用を促進します。

建築家住宅の継承と活用

日時：令和5年5月27日(土)

会場：不知火館・café kiitös

参加者：42名

油谷雅次(地域まちづくり委員会 建築士の会いずみ野 幹事)



岬町深日にある1986年竣工：不知火館 (café kiitös) にて「建築士の会いずみ野」のイベントを開催しました。

第1部は不知火館を設計した建築家：狩野忠正氏の御子息で建築家の狩野新氏がスライドを交えて狩野忠正氏の建築観に迫ると同時に父への思いを語って頂き、より一層身近に感じられました。また不知火館を当時スタッフとして設計・監理を担当された帝塚山大学教授：北澤嘉浩氏から設計や施工の貴重なお話を伺いました。狩野忠正氏が設計締め切り直前の1分1秒も惜しみ、また施工中もより良いものにしたいと情熱を傾けていた姿に、両氏共にリスペクトされていました。建築内部はマッシブな外観とは全く異なり、天井が3次元球体で構成され、しかもそれがRC造ラーメン構造のスラブで、仕上げは総漆喰という超絶技巧に驚かされました。そして現在店主の川口敬之さんはcafé kiitösを始

める前はとても活用は難しいかなと感じたのが、今ではずっと継続し、更に次の誰かにバトンを渡して建物を継承してもらいたいと願うほど建物の魅力に惹かれているそうです。café kiitösと友人である「まる珈琲店」による芳醇なコーヒーの香りと、人の話し声が心地よく反響するこの空間に、ふと“母の胎内”にいる感覚を感じたのは私だけでしょうか。談話会終了後、参加者全員で館内を見学し建物に直接触れると、「すごい!」「感動!」という声があちらこちらで上がっていました。第2部は岬町産業観光促進課：牧野茂一さんの案内で岬町まちあるきをし、盛り沢山の内容のイベントは終了しました。

皆さんが退出後、静寂な“あの胎内”に一人たたずんでいると…『住宅建築は単純であるべし、そこに強い情念を注ぐと建築は生き続け、その魅力が次の人に受け継がれ、新たな生命体に生まれ変わるのだ』…と声が聞こえ

た不思議な瞬間がありました。皆さんも是非、五感で感動するこの建築に足をお運びください。

狩野忠正設計「不知火館」、そして継承と活用の「café kiitös」に感謝!!

この度、建築士会以外の多くの方のご協力とご参加を賜り厚く御礼を申し上げます。



不知火館
全景外観



1階
カフェホール
内部

建築相談室から(74) 建築士に相談できるからこそ

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

本会相談委員会の電話相談は平日毎日月～金曜日午後1時から4時までおこなっています。これは同様の建築相談の中でも、回数や時間も多く気軽に相談ができる窓口になっています。今月は、そんな相談の中から「建築士では答えにくい」というものを取り上げます。そこから見える建築に困っている方への窓口としてあるべき相談の形を考えてみたいと思います。

建築設計事務所からの相談

自身が設計監理する民家の改修工事中に施主と工務店がもめ、工務店から施主に訴状が届いた。どうしたらいいか?という相談です。相談シートには相談者が本会会員かどうかについて明記がなかったためわかりません。自身が裁判の当事者でなければ積極的に関与する必要はないと思いますが、もし被告とされているようであり、かつ本会会員であれば、本会と提携している弁護士事務

所の紹介もできます。

借りたテナントの床がたわんでいた

半年前に美容院開業のため築40年以上のテナントで賃貸借契約をした相談者。建物は鉄骨造で、内装工事に際して床を剥がすと床のALCがたわんでいることがわかり、工事を進めていくのに不安を感じた為、それを貸主に伝えて契約解除を申し入れたところ、貸主から逆に原状回復費用として1000万円を請求された、という相談。電話で一般の方からの相談なので説明は正確でないかもしれませんが、これは建築士が安易に答えを出したりアドバイスをしたりできる相談ではなさそうです。相談記録も弁護士に相談を、となっています。

相続した土地のブロックは誰のもの

親から相続した土地の一部を売却することにした。一部貸していた土地があり、借家も残っている。借家側に作られているコンク

リートブロック塀を誰が作ったかを知りたい。築40年以上経っており、資料は一切残っていない、との相談。それはさすがに建築士でもわからないです。

長屋を元に戻したい

連棟長屋(2棟)を2戸とも3階建てに改造している。相談者側を元に戻したいが、隣が納得しない。期限を切って返事がないと法的手段をとると伝えているが、返事がない場合はどうしたらいいか?という相談。これも建築士では答えられません。

建築士に相談できる窓口として

相談者にとっては求めている答えではなかったかもしれませんが。電話相談ではこれらの相談のみならず答えにたどり着かない相談はたくさんあります。しかし、相談者は建築士に話をするうちに整理がついて、冷静になることはよくあります。電話相談の役割はそういう所にもあるのではないのでしょうか。

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価

耐震補強計画案の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

新しくなった「大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン」講習会

8/21 CPD2単位 (予定)

だれもが自由に安心して出かけられるまちづくりを目指して、大阪府が定めている「大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン」ですが、この度一部改訂、追加が行われました。これを機に建築士に向けて、「大阪府福祉のまちづくり条例」について、改正点を中心に講習会を行います。同ガイドラインは大阪府のHPよりDLできますが、会場に於いては講習用資料として印刷した冊子を準備します。

日時 8/21 (月) 14:00～16:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

※Teamsによるライブ配信も実施

講師 大阪府 都市整備部 住宅建築局 建築環境課 住環境推進Gより

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

資料代 実費精算 (1,000円程度の予定)

会場定員 50名 (申込先着順)

申込 大阪府建築士会HPより

令和5年度建築士定期講習

8/25、9/27、10/19、11/30、12/22、1/30、2/6、3/29 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和2年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

※8/25 (金) 大阪府建築健保会館 90名

9/27 (水) 大阪府建築健保会館 90名

※10/19 (木) 大阪府建築健保会館 受付終了

※2/6 (火) 大阪YMCA会館 200名

▼DVD講義

日程・会場・定員

11/30 (木) 大阪府建築健保会館 90名

※12/22 (金) 大阪府建築健保会館 90名

1/30 (火) 大阪府建築健保会館 90名

3/29 (金) 大阪府建築健保会館 90名

時間 9:15～17:00 (各講習日共)

受講料 12,980円 (消費税含。事前振込)

申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(令和2年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所 (送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局

※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

<https://jaeicktosyu.jp/jaeicteikikosyu/>

(注) 各回定員に達し次第、受付を終了します。

令和5年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)

9/7、11/22、1/26、2/14、3/8

CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。10頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日程 9/7 (木)、11/22 (水)、1/26 (金)、2/14 (水)、3/8 (金)

時間 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 各回30名 (定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページより申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

竹原義二氏講演会

+ユニソン大阪事業所見学会

9/8 CPD3単位 (予定)

ガーデンエクステリア事業やランドスケープ事業、温熱環境事業を手掛ける株式会社ユニソンが2021年3月に開設した大阪事業所の見学会を実施します。本事業所は2023年度建築人賞を受賞し、設計した竹原義二氏の視点や本事業所の設計手法を学ぶための講演会も行います。

日時 9/8 (金) 13:30～17:00

会場 ユニソン大阪事業所

(大阪市鶴見区茨田大宮2-8-13

大阪メトロ長堀鶴見緑地線

門真南駅下車 徒歩5分)

定員 40名 (申込先着順)

受講料 建築士会会員2,500円

後援団体会員3,500円

一般4,500円

WEB講習会

建設工事の安全関係法改正のすべて!

～大阪府工事入札 (実績申告型) の評価点追加対象講習会～

9/11～9/24 CPD3単位 (予定)

安全関係法令の改正点のポイントをわかりやすく解説し、設計者及び工事監理技術者等に設計～施工にわたる安全・健康確保の措置や、建築労働者の意識向上を図る取組みについての講習を行います。※2021年12月15日の講習会を録画したものととなります。

日時 9/11 (月) 10:00～9/24 (日) 終日

会場 Microsoft TeamsによるWEB講習会

受講料 建築士会会員2,000円

後援団体会員2,500円

一般3,500円

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習10/11、1/18

更新講習9/13、12/13、3/13

CPD新規各5単位、更新各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2020年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習 (DVD)

日時 10/11 (水)、1/18 (木) 9:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名 (定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込21,450円

郵送申込22,000円

▼更新講習 (DVD)

日時 9/13 (水)、12/13 (水)、3/13 (水)

13:30～16:50

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名 (定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込17,000円

郵送申込17,600円

▼申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

移情閣と明石海峡大橋舞子海上プロムナードを巡る

～詩歌に詠まれた景勝地その文化と変貌にふれるひととき～

9/15 CPD2単位 (予定)

兵庫県を代表する景勝地、舞子公園周辺を巡るひとときを企画しました。

移情閣の建物についての逸話をお聞きするほか、変貌をとげた舞子公園を訪れます。



日時 9/15 (金) 14:00～16:30

集合・受付 13:45～

集合場所 JR舞子駅

(参加証に詳細記載)

会場 移情閣・明石海峡大橋舞子海上プロムナードほか

解説 (移情閣にて)

(株)藤木工務店 ご担当者様

定員 25名 (申込先着順・若干名キャンセル待ち受付)

参加費 建築士会会員2,000円

一般3,000円

(移情閣・海上プロムナードの入館料を含みます)

申込締切 9/5 (火)

2025年建築士会全国大会「大阪大会」プレ企画

大阪・関西万博へ始動!

「大断面・特殊加工工場見学」

9/8 CPD2単位 (予定)

第1部 丹波篠山工場: 在来軸組プレカットの見学

第2部 三田工場: 大断面・特殊加工機「フンデガーK2i」でのリング部分の加工見学

大屋根(リング)は、完成時には建築面積(水平投影面積)約60,000㎡、高さ12m(外側は20m)、内径約615mの世界最大級の木造建築物となります。

日時 9/8 (金)

13:00 集合

集合場所 JR篠山口駅東口1階ロータリー

13:30～14:00 受付(時間厳守)

丹波篠山工場にて受付

14:00～14:45 丹波篠山工場の見学

15:45～17:00 三田工場見学・全体質疑

⇒解散/懇親会会場へ(希望者)

会場 (株)岡本銘木店

丹波篠山工場(兵庫県丹波篠山市378-1)

三田工場(兵庫県三田市大川瀬1510-1)

講師 岡本尚哉氏

(株)岡本銘木店 取締役専務兼工場長)

眞野智史氏

(株)岡本銘木店 課長)

定員 30名 (申込先着順)

INFORMATIONの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

受講料 建築士会会員1,000円
一般2,000円

建築相談委員会 住宅を設計する仲間達
部会企画セミナー&交流会

BIMで変わる住宅設計のこれから
9/29 CPD2単位(予定)

今後、BIMは設計者にとって欠かせない道具となる可能性があります。また国土交通省はBIMのデータを用いた確認申請を2025年に試行すると発表しています。BIMは大型の建築に有効と思われがちですが、住宅設計にも多く使用されており、様々な効果が表れています。今回は、BIMを使って多くの住宅を設計されているアトリエスイッチの完山氏に、BIMを活用した住宅設計手法のお話をさせていただきます。

日時 9/29(金) 18:30~20:30

場所 大阪府建築士会 東会議室

講師 完山 剛氏

㈸アトリエスイッチ一級建築士事務所
笠松哲司氏 ㈸笠松堂

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

定員 30名(申込先着順)

第67回建築士全国大会 大阪大会プレ企画
第65回建築士全国大会 しずおか大会を知る!
「東西に分かつ静岡の食文化!」
10/5 CPD2単位(予定)

富士山・遠州灘・伊豆海岸等、個性ある地形と風土を持ち、日本の全ての食文化があるとも言われる「静岡」を学んで、「第65回全国大会しずおか」に行きましょう。静岡県立大学名誉教授 新井映子先生をお迎えして、静岡の食文化をweb講義頂きます。雑学としての建築知識の食文化を切り口にして、歴史と文化の伝承について考えます。是非共、ご参加下さい!

日時 10/5(木) 16:00~17:30

会場 大阪府建築士会 東会議室

ZOOMによるWEB配信セミナー併用

講師 静岡県立大学名誉教授

新井映子氏

参加費 会員1,000円 会員外2,000円

定員 25名(申込先着順)+WEB参加

申込 大阪府建築士会 シニアサロン

建築士の会 南河内 地域歴史文化探訪
〜太子町「梅鉢御陵」を訪ねて〜
10/7 CPD2単位(予定)

私達建築士にとって各々の地域の歴史文化を学ぶことはとても有意義だと考えます。とりわけ南河内には古墳時代のレガシーが色濃く残っています。竹内街道の沿道にある太子町には、二上山麓の谷あいには約30基からなる磯長谷古墳群(しながだにこふんぐん)があり、皇族の陵墓が集中していることから、周辺は王陵の谷

(おうりょうのたに)とも呼ばれています。その中の天皇陵4基と聖徳太子廟の5つの古墳は、梅の花びらになぞらえて梅鉢御陵(うめばちごりょう)と称されます。今回は、この御陵と竹内街道沿に竹内大道旧山本家(国登録有形文化財、2004年改修/設計:石井智子氏・美建設計)を訪ねます。

日時 10/7(土) 13:00~17:00

雨天決行

集合 12:00 近鉄長野線「喜志」駅東口
広場

(集合後バスで叡福寺まで移動します)

コース 徒歩約6km(約4時間)

叡福寺→西方院→用明天皇陵→旧山本家→孝徳天皇陵→推古天皇陵→敏達天皇陵(解散後バスで喜志駅又は上ノ太子駅へ)

案内人 観光ボランティア『太子街人(ガイド)の会』

募集 20名(申込先着順)

申込締切 9/25

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

※懇親会参加の場合は別途懇親会費徴収

建築士・市民にとって「団地」から考える建築・まちづくり(Na.2)

まちの景観としての団地
〜千里ニュータウンまち歩き〜
10/14 CPD3単位(予定)

まちや景観を形成してきた団地、珍しい高層のスターハウス、団地マンホール、映画『黒の凶器』/1964年のロケ地だった近隣センター、美しい公園など、千里ニュータウンを建築士と市民と一緒に歩き、団地の歴史と現在、建築・まち・景観を考える。是非ご参加ください!

日時 10/14(土) 13:00~16:00

行程

千里ニュータウン情報館〜UR千里竹見台団地〜千里グリーンヒルズ竹見台〜UR都市機構空家住宅(予定)〜千里南公園〜高野台診療所〜高野台近隣センター〜佐竹台近隣センター〜佐竹公園〜OPH千里佐竹台〜千里ニュータウン情報館

定員 20名(申込先着順)

参加費 500円(学生無料)

行政からのお知らせ

2024年4月1日から大規模な非住宅建築物の省エネ基準が変わります(国土交通省)

2021年10月に閣議決定されたエネルギー基本計画等において、2030年度以降新築される住宅・建築物についてZEH・ZEB水準の省エネ性能の確保を目指すこととされており、省エネ基準を段階的に引き上げることとなっております。今般、適合義務化が先行している大規模非

住宅建築物について、各用途の適合状況等を踏まえ、省エネ基準の引上げを行うこととしたものです。

●省エネ基準見直し3つのポイント

①延床面積が2000㎡以上の大規模非住宅建築物の省エネ基準を引き上げます

②用途毎に基準値の水準が異なります(現行省エネ基準を15~25%強化)

③2024年4月1日に施行です

詳細は国土交通省HPをご確認ください。



大阪市既存建築物火災安全対策改修支援事業

本市では、令和3年12月に北区で発生したビル火災を踏まえ、既存建築物の防火上・避難上の安全性の確保を図るため、2方向避難の確保や直通階段の防火・防煙対策などの改修を行う建物所有者等に対して、国の事業を活用し、改修に係る工事費や設計費について補助を行う「既存建築物火災安全対策改修支援事業」を令和5年6月22日から実施しています。

https://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000599037.html

その他のお知らせ

定期報告の動画配信サイト「定期報告 WEB OSAKA」のご案内

一般財団法人 大阪建築防災センターでは、建築基準法第12条に基づく定期報告制度について、調査・検査に役立つ情報や啓発動画などを、動画配信サイト「定期報告 WEB OSAKA」より発信しております。有料の講習動画、無料の情報動画・啓発アニメーションなど、定期調査・検査実務のスキルアップや定期報告に関する情報の収集等にお役立ていただける内容となっております。

ぜひ、以下のアドレス又はQRコードよりアクセスいただきご覧ください。

【動画配信サイト】

https://teiho-webosaka.

stores.play.jp/



あなたの時間を有効に、伝統文化継承請負人になりませんか

茅刈後継者レベルアップ養成講座
9/3、10/22、12/2~3、3/2~3

河内長野市の岩湧山には茅場と檜林が現存し、茅の刈取りと檜皮採取が行われ文化財修理用として利用されています。檜皮採取は専門の技能者の育成が行われている一方で、茅採取は地域の共同作業により細々と

行われてきました。岩湧山の茅場を維持している河内長野市滝畑地区は高齢化が進み、茅刈り従事者は減少の一途です。このため茅刈後継者養成講座を実施し、茅刈採取事業に従事する人材の育成に努めています。

①茅場環境整備実習

日時 9/3(日) 10:00~14:00

会場 岩湧山カヤ場

定員 25名

内容 カヤ場の低木を除去し、カヤの育成を促進させカヤ場を維持するための作業実習

②重要文化財山本家住宅見学会と臨地講義

日時 10/22(日) 13:00~16:00

会場 大阪府河内長野市小深

山本家住宅

定員 25名

内容 17世紀の民家である重要文化財山本家住宅の見学と研究者からの臨地講義

③茅葺き実習

日程 12/2(土)、12/3(日)

会場 滝畑ふるさと文化財の森センター

定員 25名

内容 センター内の小屋組を利用した1泊2日の茅葺き実習

④茅刈り実習

日程 3/2(土)、3/3(日)

会場 滝畑ふるさと文化財の森センター・岩湧山カヤ場

定員 25名

内容 岩湧山茅場での1泊2日の茅刈実習

【詳細・申込】

NPO法人 文化遺産保存ネットワーク河内長野
Tel.090-6903-6137

Email: takoukuromaro@gmail.com

本誌Galleryに作品を載せませんか?

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。ぜひ本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載されませんか。なお、掲載作品は本会が表彰する「建築人賞」の候補となります。掲載ご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

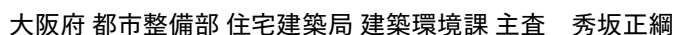
●掲載記事 1頁カラー、写真4点程度(詳細は本誌Galleryページ参照)

●掲載費用 100,000円

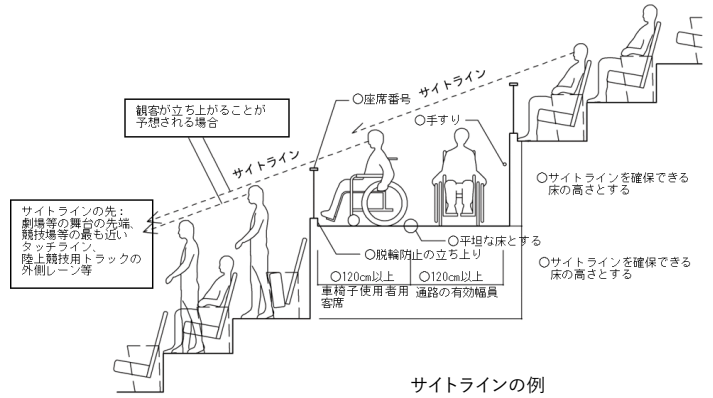
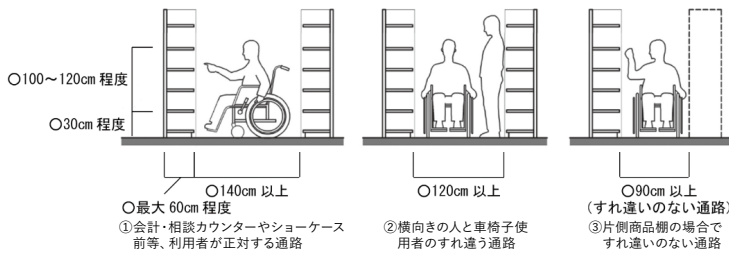
※1 初回割引80,000円(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

※2 若手初回割引50,000円(40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方)

●詳細・申込 事務局担当: 母倉
e-mail: info@aba-osakafu.or.jp
TEL: 06-6947-1961



物販店舗の通路の例



サイトラインの例

る乗降可能な駐車スペース等を屋内に設ける。

- 車椅子用リフト付き福祉車両（バンタイプ）では、後部ドアの開閉が通常であり、奥行きと後部の乗降スペースについて配慮する必要がある。
- 屋内又は屋外の駐車施設に屋根もしくは庇を設ける場合には、車椅子用リフト付き福祉車両等に対応した天井高さを確保する。

【造作設備・内装等〔ガイドライン第16章、第17章、第21章〕】

バリアフリー法や福祉のまちづくり条例では、建築物の主な部分について高齢者、障がい者等を含めたすべての人が円滑に利用できるよう基準を定めていますが、同様の趣旨に基づき、基準の適用を受けない設備や内装等についても、すべての人が利用できるような適切な配置が求められています。

今回の改訂では、造作設備、内装等に関する望ましい整備項目を記載しているほか、第21章において「小規模店舗における設計ガイドライン」として、具体的な設計例を交えて紹介しています。

（物販店舗等）

- ATM等の機械には、音声案内による操作が可能なハンドセットを設ける。

- 会計・相談カウンターの前やショーケースの前等、従業員と利用者が正対する通路の幅は、140cm以上とする。面積や構造による制約が

あり、やむを得ない場合は120cm以上とする。

- 商品棚間の有効幅員は120cm以上とする（車椅子使用者が商品を取り出しやすいようにする）。ただし、片側商品棚の場合は90cm以上とする。

（劇場、競技場等の客席、観覧席）

- 車椅子使用者用客席は、座席を可動式とし、席の取り外しにより車椅子使用者用観覧席がどの位置にも設置できる。

- 車椅子使用者用客席等のスペースの中又はできる限り近い位置に同伴者用座席を設ける。

- 客席総数が200を超える場合、車椅子使用者用客席を2カ所以上の異なる位置（異なる階、異なる水平位置）に分散して設ける。

- 前後の客席・観覧席の位置、高低差を考慮し、前席の観客が立ち上がった際にも観覧が可能となるよう、舞台やスクリーン、競技スペース等へのサイトライン（可視線）を確保する。

（小規模店舗）

本ガイドラインにおいて、小規模店舗とは、床

面積200㎡未満の物品販売業を営む店舗、飲食店、サービス業を営む店舗等を言い、本項目では、特に小規模な店舗においても求められる重要な項目を記載しています。本稿では設計例として「飲食店舗」をご紹介しますが、ガイドライン本編には「物販店舗」「サービス店舗」も掲載しておりますので、小規模店舗の設計の参考にしてください。

■おわりに

施設を計画・設計する際には、利用者の特性や利用人数、利用頻度などを想定し、計画・設計を行うことが重要なのは言うまでもありません。

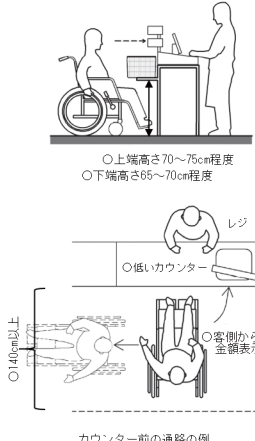
一方で、近年の超高齢社会の進展や障がい者の社会参加の拡大など、想定される利用者の幅は広がりを見せており、同様に利用者のニーズも多様化しています。

その多様なニーズに対応するにあたり、施設の計画・設計に携わる皆様によってこのガイドラインが有効に活用され、福祉のまちづくりがより一層進められるよう期待いたします。

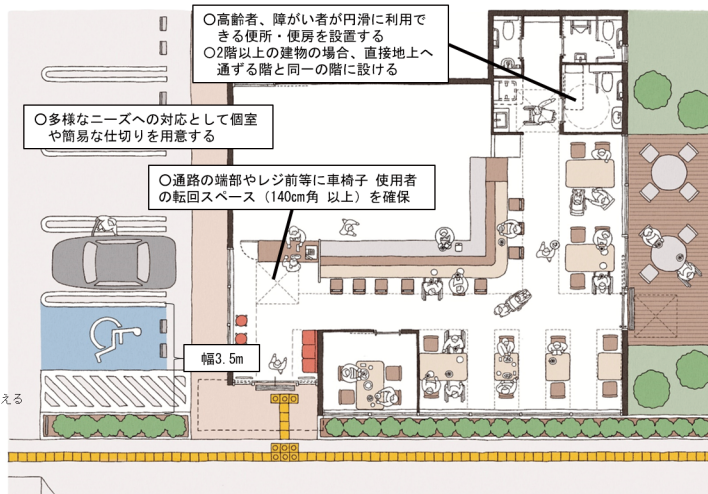
飲食店舗の設計ガイドライン

- 【共通項目】
 - 店舗内及び通路には、原則として段を設けない。
 - 来店が容易に視認でき、迅速に対応できるよう、店舗の出入口の壁面材料（透明ガラス面仕上げ等）に留意する。
 - 出入口は、引き戸の方が開き戸より使いやすく、また自動式の方が使いやすい。
 - 道から出入口にいたる経路上に段を設けない。
 - 戸の前後に水平なスペースを確保する。

会計カウンターの例



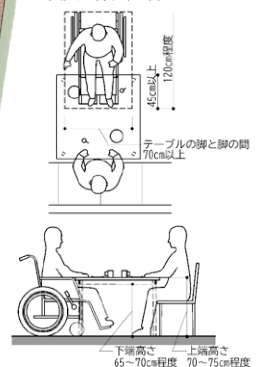
カウンター前の通路の例



- 待合には、高齢者、障がい者等の休憩の用に供する設備（ベンチ等）を設ける
- セルフサービス方式の場合、冷蔵庫や棚の扉は引き戸とする

- 固定席を設ける場合には、客席総数の1/2未満とする
- 飲食店の場合は椅子に座った状態でも有効幅員90cm以上を確保する

○可動式の椅子席の例



アイセルシュラホールを活用した観光の拠点づくり

藤井寺市 市民生活部 観光課 課長 松宮嘉彦



「なかなかのまちなか藤井寺」

藤井寺市は大阪府の南東部に位置し、北部に大和川、東部に石川が流れ、金剛、二上、生駒の山並みを望みます。市域のほとんどが平坦地で、市域面積が8.89km²と大阪府で最も小さく、全国でも5番目に小さい市ながら、鉄道の3駅や西名阪自動車道が通っており、アクセス性の高いコンパクトシティとして形成されています。市域には、2019年7月に大阪で初めてとなる世界遺産に登録された古市古墳群や、日本遺産に登録された西国三十三所巡礼の第五番札所となる葛井寺、そして学問の神様「菅原道真」ゆかりの道明寺や道明寺天満宮などを有する、歴史資産が大変豊富なまちです。また、近年では、若者に人気の個性的なお店やまちなかで様々なイベントが開催されるほか、クラフトビールの工房が2軒オープンするなど、新しさと古い文化が共存するまちの様子を「なかなかのまちなか 藤井寺」と題してプロモーションを展開しています。



古市古墳群



河内乃える

美陵ビール

ロゴマーク

古墳群の魅力

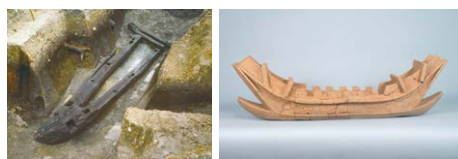
世界遺産に登録された古墳群のうち、市内には大小29基が指定されています。多くの古墳は立ち入ることが出来ませんが、実際に中に入って墳丘に登れるのが、津堂城山古墳と古室山古墳です。津堂城山古墳は公園として整

備され、四季折々の草花を楽しむことが出来るピクニックにおすすめの古墳です。また古室山古墳は、後円部の頂まで登ると市内を一望できる眺めのいい古墳で、桜の名所としても地域の皆さんから親しまれており、今年は初めてライトアップを行ったところ、その幻想的な風景に多くの人が集まりました。

古墳からは様々な遺物が発掘されていますが、1978年に三ツ塚古墳から発掘された修羅（重い荷物を乗せて運ぶための古代の木ぞり）は国の重要文化財に指定され、全長8.8mの大きい修羅は近つ飛鳥博物館（河南町）に、全長2.8mの小さい修羅は、市立図書館で展示されています。この修羅と、市内の古墳から出土した国内最大規模の船形埴輪をモチーフにした建物が、市立生涯学習センター「アイセルシュラホール」です。



古室山古墳夜桜ライトアップ



修羅

船形埴輪

藤井寺市のランドマークへ

アイセルシュラホールは、生涯学習センターと公民館の機能を持ち、1997年にオープンしました。世代を問わず、学び集い遊び交流しあえる個性豊かな生涯学習活動を支援できる施設として地域の皆さんに愛されています。その特徴的な外観は、歴史を継承し、未来へと出帆する船をイメージしたものです。2階には歴史展示ゾーンがあり、実際の出土品を見ながら歴史を学ぶことができます。中でも注目すべき展示物は、3体の水鳥形埴輪で

す。津堂城山古墳から発掘されたもので、大きさは1m以上あるものもあり、水鳥埴輪としては国内最古で最大と言われており、コハクチョウをモデルにしたと考えられています。



水鳥形埴輪

市ではこのアイセルシュラホールの景観を活かし、2025年大阪関西万博の開催に合わせて、1階、2階部分のリニューアルを予定しています。

これまでの生涯学習機能に加え、国内外から多くの来場者が大阪に来られるこのタイミングで、観光の拠点としての機能も担える施設となるよう、サービスの充実を図っていき考えています。現在の計画では、1階にビジターセンターとして、観光案内や物販、飲食のスペースを設置し、来訪者をおもてなしできる機能を設け、2階には世界遺産古市古墳群の価値をわかりやすく伝えるガイダンス機能や古墳ミュージアム機能を兼ね備えた施設を目指して、今年度の実設計を、来年度中にはリニューアル工事を終え、国内外からの多くの来訪者にご来館いただきたいと考えています。

このアイセルシュラホールが将来に渡って多くの人でにぎわい、交流できる施設となり、藤井寺市の持続可能な発展のランドマークとして多くの皆さんから愛される、魅力あふれる施設にしていきたいと考えています。



藤井寺市立生涯学習センター アイセル シュラ ホール

多様な機能を持ち、活力に満ちた市役所への変革

羽曳野市 都市開発部 建築住宅課 課長
兼 総務部 管財用地課 庁舎整備推進室 室長 筒井政雄



ワインと世界遺産のまち「はびきの」

天王寺から電車で約20分。羽曳野市は大阪府の南東部に位置し、河内平野の中にある豊かな自然と歴史的名所に恵まれた街です。令和元年に大阪で初めて世界遺産に登録された世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産をはじめ、大小さまざまな古墳が点在し、人々の暮らしもその中にあります。「ぶどう」「いちじく」などの産地としても有名で、この土地で育まれたぶどうからつくるワインは大阪の代表的な特産品にもなっています。

ご当地キャラクター「つぶたん」



市街地に点在する世界遺産

市役所周辺には、官公庁や病院、店舗や飲食などの商業施設、マンションや戸建てなどの住宅施設が建ち並んでいます。また、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の古市エリアに位置しており、近辺に3基の構成資産があります。その3基とは、市役所敷地から北東側約300mの古市古墳群最大の前方後円墳で、国内第2位の墳丘長をもつ「応神天皇陵（おうじんてんのうりょう）古墳」と、敷地西側にある「墓山（はかやま）古墳」と「向墓山（むこうはかやま）古墳」です。身近に存在するこれらの歴史資産により、市民をはじめ来庁者は日常的に古墳の雄大さを目の当たりにすることができます。



新庁舎の必要性

昭和49年に建築された羽曳野市本庁舎（本館）は、施設・設備の老朽化が進み、耐震診断結果では、震度6強の地震が発生した場合「倒壊または崩壊する危険性が高い」とされています。庁舎は、防災拠点として最も大

きな役割を担うべき施設ですが、現状では災害発生時に市民の生命・財産を確保するために必要な災害応急活動や災害復旧活動を統括する機能が十分ではありません。また、窓口の分散化、執務室の狭あい化、バリアフリーやユニバーサルデザインへの対応不足等、市民サービスや業務効率の低下につながる多くの課題があります。これらを抜本的に改善し、市民と職員の安全・安心の確保のため、建替えによる新庁舎の整備が急務であると判断しました。

「歴史・文化・自然を受け継ぎ 安全・安心な未来を創る新庁舎」

これは、本年3月に策定した「羽曳野市本庁舎建替整備基本構想」で示した新庁舎整備の基本理念です。今年度は、この基本理念の実現に向け、基本計画の策定を進めています。基本計画では、市民サービス機能はもちろん、民間活力の活用による賑わいの創出、防災拠点としても機能する広場整備など、様々な検討を行っていきます。

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
事業スケジュール	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計+工事(1期) *実施設計+施工での0.8割はを想定	工事(2期)		



移転
新庁舎供用開始

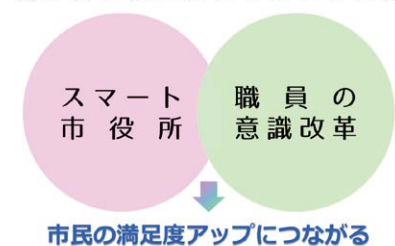
スマート市役所と職員の意識改革

庁舎というハードを新しくするのであれば、ソフト面でも「従来型」から脱却しなければなりません。本年5月、市長から全職員に対し、新庁舎整備に向けたメッセージ配信を行いました。

羽曳野市が新庁舎整備を機に目標とするのは「スマート市役所」と「働き方に対する意識改革」です。市民サービスのオンライン化やAI・RPAを活用した業務効率化など、DXを推進したスマートな市役所をめざし、その上で、企画立案業務や相談業務等、職員でなければならない業務に注力できるような環境を整備していくことがよりよい市民サービスにつながると考えるからです。また、市民だけでなく、職員も居心地よく快適に働け

る環境をつくっていかねばなりません。そのためには、職員の働き方に対する意識付けを積極的に行い、フリーアドレス・グループアドレスの推進やペーパーレス・ペーパーストックレスなど、時代の流れに沿った新しいワークスタイルを取り入れていきます。

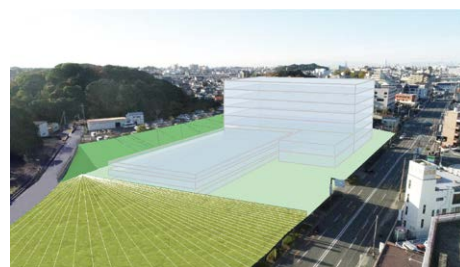
新庁舎整備においてめざす目標



5年後を見据えた変革

新庁舎整備には、近接する世界遺産との調和・共生のみならず、自然環境への配慮が不可欠です。さらに、前述した防災拠点としての機能や市民のニーズに応える機能も盛り込んでいかねばなりません。これらを兼ね備えた庁舎を整備するためには、庁内の協力体制の構築は当然のこと、市民や各種団体、議会、有識者からの意見も取り入れる必要があります。その一方で、物価高騰などの不安要素が多い状況下であることから、有利な地方債の活用をはじめとしたコスト管理や工程管理を徹底していかなければなりません。

今年度からは、庁内分科会を発足して若手・中堅職員が主体的に参画する仕組みを構築するとともに、有識者や各種団体で構成する意見聴取会や、市民が参加するワークショップを開催するなど、より強力に事業を推し進めます。5年後の新庁舎完成に向けて、羽曳野市は変革していきます。



ボリュームイメージパース

鬼頭梓の図書館建築の出発点

東京経済大学図書館 一九六八年

文・写真 松隈 洋〔神奈川大学建築学部教授〕

二〇二三年三月から六月まで、京都工芸繊維大学の美術工芸資料館で、「建築家・鬼頭梓の切り拓いた戦後図書館の地平」と題する建築展が催された。同時開催の「村野藤吾と長谷川堯―その交友と対話の軌跡」展と共に、筆者にとって、二三年間の在任中に手がけた最後の展覧会となった。なぜ今、鬼頭の「戦後図書館」なのか。図録にも記したが、ここでは、私事を交えつつ、開催までの経緯と主旨を書き留めておきたい。

一九九三年、鬼頭が設計に携わった前川國男の神奈川県立図書館・音楽堂（一九五四年）が、再整備計画により取り壊しの危機に陥る。その最中に行われた誌上座談会で、建築家協会会長という難しい立場ながらも、当時を振り返り、音楽堂が戦後の解放感と未来への希望の中で生み出されたと言語の鬼頭の姿に接する（『建築ジャーナル』一九九三年八月号）。続く一九九八年には、彼の建築を各地に訪ねて批評する機会を与えられ、

戦後図書館を切り拓いた仕事を知り感銘を覚える（松隈洋「路地と広場と空間と―鬼頭梓の建築が求めたこと」『INAX REPORT』一三六号、内井昭蔵監修『モダニズム建築の軌跡』INAX出版二〇〇〇年所収）。

そうした経験から、大学着任後の二〇〇二年、大阪の建築専門書店の柳々堂の協力により企画監修した「近代建築を旅する」と題する連続講演会に鬼頭を招き、「図書館建築に託したもの」というテーマで講演を依頼したのである（アーキフォーラム・ノート）『住宅建築』二〇〇二年九月号、二〇〇三年九月号）。実は、その打合せの際、鬼頭から事務所閉鎖に伴い設計原図を廃棄せざるを得ないとの話を聞く。二〇一三年の文化庁国立近現代建築資料館設立前のことだった。そこで、筆者から依頼して、二〇〇三年、東京理科大学山名善之研究室が緊急避難の形で図面を預かり、一次整理が進められていく。そして、鬼頭没後の二〇〇九年、日本建築家協会の協力で二〇〇七年に設立された金沢工業大学 JIA-KIT 建築アーカイヴスに、遺族からの寄贈により収蔵される。このような経緯と、関係者と学生の尽力によって、遺された貴重な建築資料を元に、鬼頭の図書館建築を紹介するはじめての展覧会が実現できたのである。

ところで、二〇二三年は、鬼頭の手がけた日野市立中央図書館と山口県立図書館の竣工から五〇年という節目の年にあたる。その間、全国各地に数多くの公共図書館が建設された。統計資料によれば、二〇二二年、その総数は当時の三倍以上の三千三百五館に増え、自治体別の設置率を見

ると、都道府県立一〇〇%、市区立九九%に達した。少なくとも、現代は、ほぼすべての県や市に図書館が存在する時代となった。けれども、町村立の設置率は五八%という低い水準にとどまるという。また、それ以上に気がかりなのは、全国各地で書店が激減していることであり、二〇二二年には、書店がひとつもない市区町村が二六・二%にも上った。それは、同じ国に住んでいるにもかかわらず、本を手に取り、本の世界に触れる情報環境を持たない人が国民の一／四以上いることを意味する。そして、そのような貧弱な情報環境によって、もともと影響を受けるのが子供たちではないだろうか。それは、「すべて国民は、健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有する」と謳われた日本国憲法第二五条に抵触する社会問題であり、改めて公共図書館の歴史と存在意味が問われ始めている。

こうした中で、鬼頭梓の仕事を通して、公共図書館の意味を再確認する機会にしたいと思ったのである。さて、ここに掲載する写真は、一九九八年、鬼頭の図書館建築の出発点となった東京経済大学図書館を初めて訪ねた際のものである。この時、何よりも新鮮に感じたのは、一辺四〇m 角の正方形プランの大屋根の下に広がる柱のない大空間の一階の開架閲覧室と、地下二階の第二閲覧室との、空間のスケール感と明るさの対比的な印象の違いだった。一人静かに本と向き合う学生の姿が神々しく見えた。しかも、その対比は、敷地の高低差を巧みに利用したさりげない方法によって実現されていた。前川の下で

国立国会図書館と神奈川県立図書館を担当した実績を評価されて、幸運にも、大学との信頼関係に基づく恵まれた条件の下で設計を依頼された鬼頭にとって、独立後、最初に手がけたこの図書館は、文字通り、その後続く図書館建築の出発点となる。しかも、そこには、後年に次のように記すとおり、すでに最初の時点から、図書館建築に求めた鬼頭の空間哲学と呼べるものがあつたのだと思う。

「私は平ら床に集約される新しい図書館建築の諸原則に強く共鳴している。そして同時に一人で静かに本を読む場所、というイメージにも固執している。（中略）何故なら、一人で静かに本を読む、というイメージは、実は本の持つ本質そのものに深く根ざしているからなのである。図書館は皆のものであり、本の場所であり、そして私一人の場所でもある。そんな空間を創りたいと思う。」（新しい図書館の建築『現代詩手帖』一九八一年十一月号）

ここに簡潔に記された「私一人の場所」としての図書館の在り方に対する眼差しこそ、東京経済大学の地階の閲覧室に、禅寺のような暗がりに包まれた骨太で簡素な空間と、その下に設けられた大きな閲覧机の形を生み出す原動力だったに違いない。残念ながら、二〇一四年、新図書館の建設に伴う大倉喜八郎進一層館への改修によって、そのたまたまは失われてしまったが、人間にとって本とはどのような存在なのか、そして、図書館に何が求められるのか。そのことを考えるためにも、ここを起点に始まる鬼頭の図書館建築の原風景を、今一度記憶しておきたい。



中二階から一階の閲覧室を見下ろす



地下二階の陰影のある第二閲覧室

水から、 ドラマチックに。

水にしか作れない感動がある。
水にしかできない癒しがある。
生きるためだけでなく、
暮らしの飲みのそばにも、
水は欠かすことができない。
だからあなたと水との出会いを、
もっと素敵に、ドラマチックに。
24時間365日、今日も世界のどこかで、
SANEIは飲みの瞬間をつくっています。

ALWAYS WITH JOY
SANEI



〇邸：白を基調とした落ち着いた空間 4つの家型ボリュームで構成されている



Ｔ邸：構造を現しにしたスキップフロアの構成が上下階の関係性を結ぶ